



令和7年3月28日発表

北陸経済調査

〔管内経済の概況〕

北陸財務局管内(石川県、富山県、福井県)の
最近の経済動向をみると、緩やかに持ち直している。

※前回2月判断を据置き(令和6年11月以降、5か月連続の据置き)

(総括判断のポイント)

個人消費は、百貨店・スーパー販売が緩やかに回復しつつあるほか、ドラッグストア販売が拡大していることなどから、全体では「緩やかに回復しつつある」。生産は、化学が緩やかに回復しているものの、電子部品・デバイスや生産用機械等が弱含んでいることなどから、全体では「持ち直しに向けた動きに一服感がみられる」。雇用情勢は、「緩やかに持ち直している」。

【先行き】

○ 雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな持ち直しが続くことが期待される。ただし、物価上昇やアメリカの政策動向、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

【総括判断】

項目	令和7年2月	令和7年3月	前回との比較
総括判断	緩やかに持ち直している。	緩やかに持ち直している。	→

【主要項目の判断】

項目	令和7年2月	令和7年3月	前回との比較
個人消費	緩やかに回復しつつある。	緩やかに回復しつつある。	→
住宅建設	緩やかに持ち直しつつある。	緩やかに持ち直しつつある。	→
生産	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。	→
雇用情勢	緩やかに持ち直している。	緩やかに持ち直している。	→

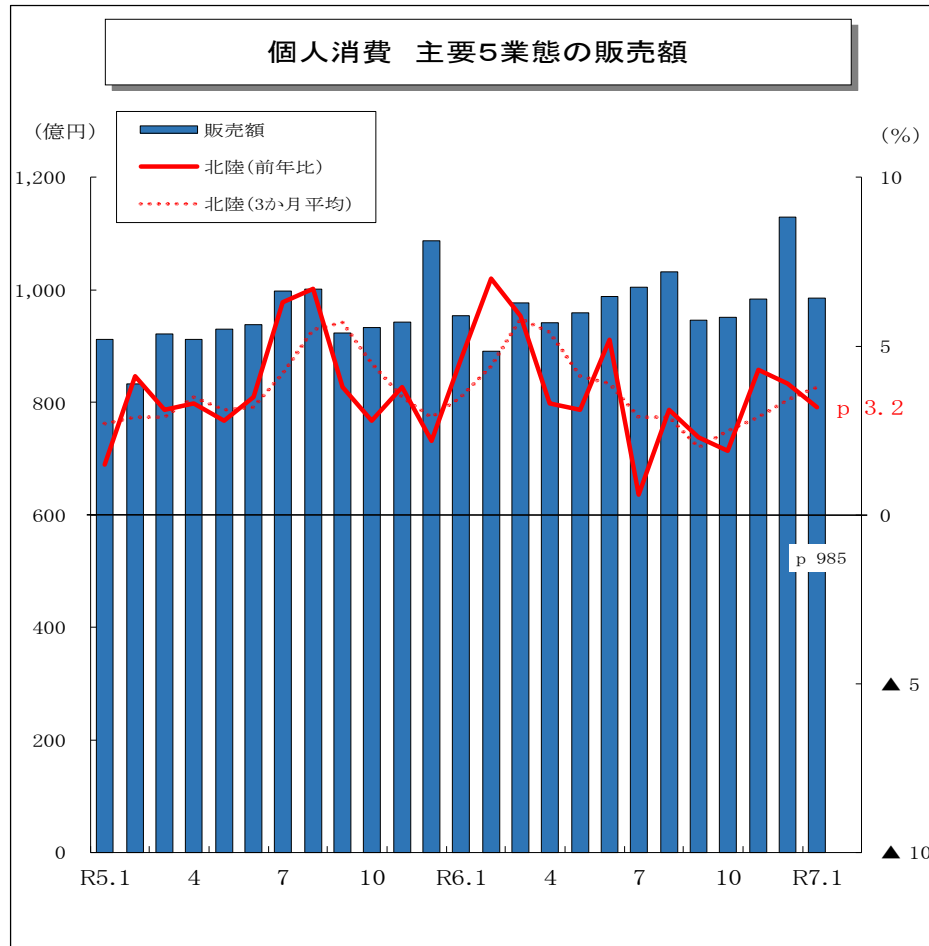
令和7年3月
財務省 北陸財務局

お問合せ先
財務省 北陸財務局 経済調査課
TEL (076) 292-7858

1. 個人消費 … 緩やかに回復しつつある

※ 前回2月判断を据置き(令和6年11月以降、5か月連続の据置き)

百貨店・スーパー販売が緩やかに回復しつつあるほか、ドラッグストア販売が拡大していることなどから、全体では緩やかに回復しつつある。



業 態	判 断	前回との比較
百 貨 店 ・ ス ー パ ー	緩やかに回復しつつある	➡
コンビニエンスストア	堅調となっている	➡
ド ラ ッ グ ス ト ア	拡大している	➡
ホ ー ム セ ン タ ー	弱含んでいる	↘
家 電 大 型 専 門 店	持ち直しの動きがみられる	➡
新 車 販 売	緩やかに持ち直しつつある	↗

(注1) 主要5業態は、各業態(百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンター、家電大型専門店)の販売額を合計したもの。

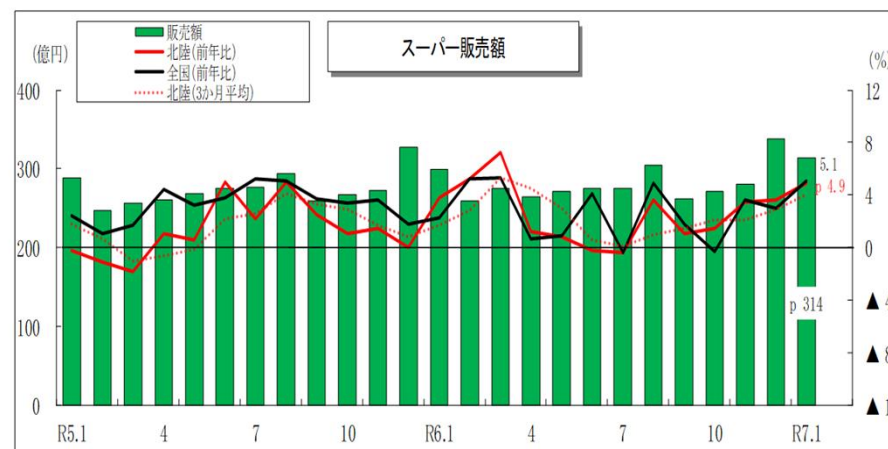
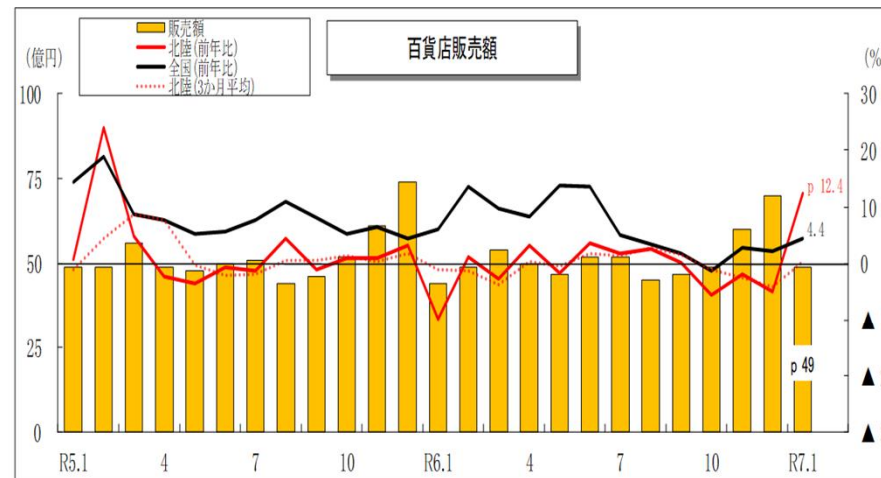
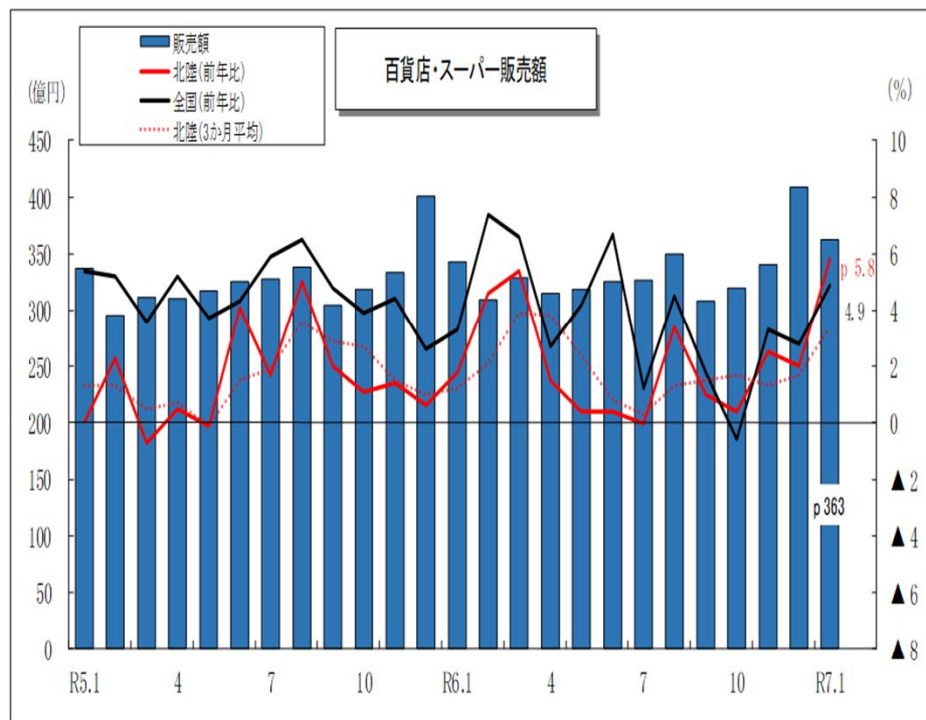
(注2) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、中部経済産業局、北陸財務局

(1) 百貨店・スーパー販売

1月の百貨店・スーパー販売は、被災で前年は不調であった初売りが盛況であったほか、地震の自粛ムードで前年は落ち込んだ客数が回復していることなどから、飲食料品や衣料品を中心に前年を上回るなど、緩やかに回復しつつある。

※前回2月判断を据置き(令和6年11月以降、5か月連続の据置き)



(主なヒアリング結果)

- 今年は、通常通り初売りを行うことができ、食料品の福袋などが好調。また、1月は好天が続き、一足先に春物衣料にも動きがみられた。(百貨店)
- 物価高の影響か、惣菜など飲食料品のついで買いが減っている。2月以降は寒波により客足が鈍かったが、足下では徐々に戻っており、催事も好調だった。(百貨店)
- 年始は2年ぶりの初売りのほか、寿司やオードブルが好調だった。一方、野菜やガソリンの価格高騰が続き、節約志向が高まっている。(スーパー)
- 多くの品目で4月からの値上げが公表される中、久しぶりの値上げとなるビールなどで駆け込み需要がみられる。(スーパー)

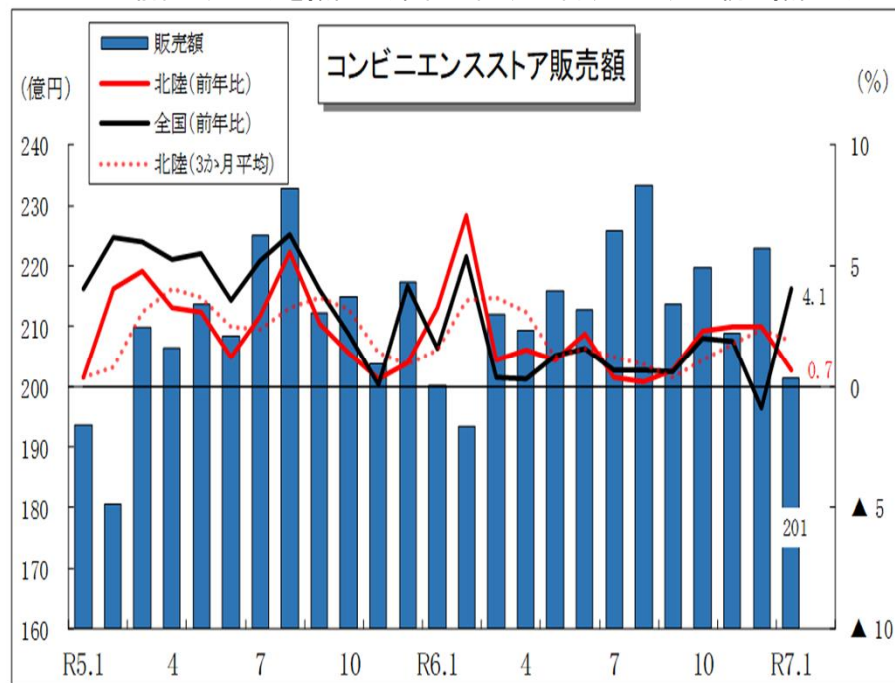
(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、中部経済産業局

(2) コンビニエンスストア販売等

①コンビニエンスストア販売は、米飯類や飲料等に動きがみられることから、堅調となっている。

※前回2月判断を据置き(令和4年8月以降、32か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

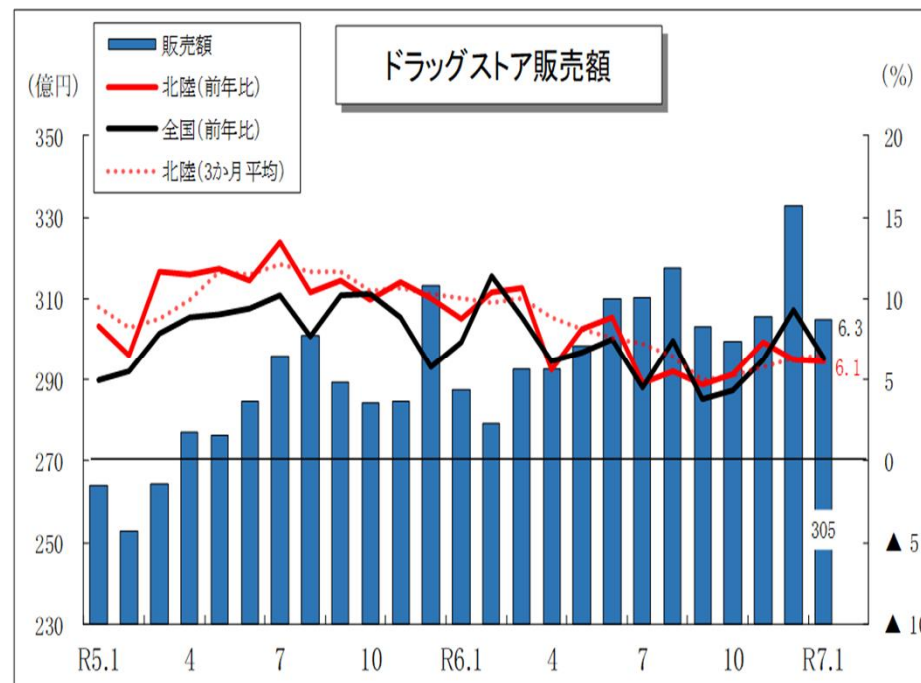
(資料) 経済産業省、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

- 昨年は地震の影響で観光客が減少していたが、今年は国内客、インバウンドとも増加しており、駅周辺や繁華街の店舗の売上げが伸びている。
- 昨年あった被災地支援用の非常食や防寒用品の大量購入がなくなったため、客数や買い上げ点数に反動がみられている。
- 物価高による節約意識から、お得感のあるキャンペーン商品の売れ行きが良い。

②ドラッグストア販売は、飲食料品等に動きがみられるほか、新規出店効果もあり、拡大している。

※前回2月判断を据置き(令和5年11月以降、17か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

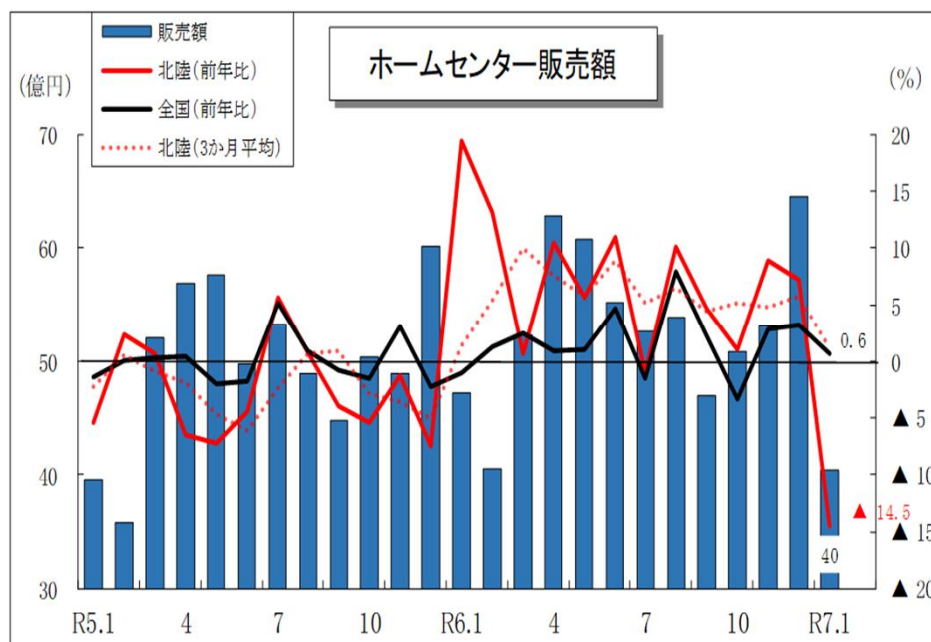
(資料) 経済産業省、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

- 飲食料品の中でも、特に生鮮食品の価格を抑えて販売することにより、客数が増えている。
- インフルエンザ等の流行から、総合感冒薬(風邪薬)が良く売れた。
- 花粉症薬は2月の寒波により動き出しが鈍く、3月に入りようやく動き出した。

③**ホームセンター販売**は、DIY用品や日用品の動きが鈍いことなどから、弱含んでいる。

※前回2月判断(「順調となっている」)を下方修正
(令和6年5月以来、10か月ぶりの下方修正)



(注) 3か月平均は当局試算。

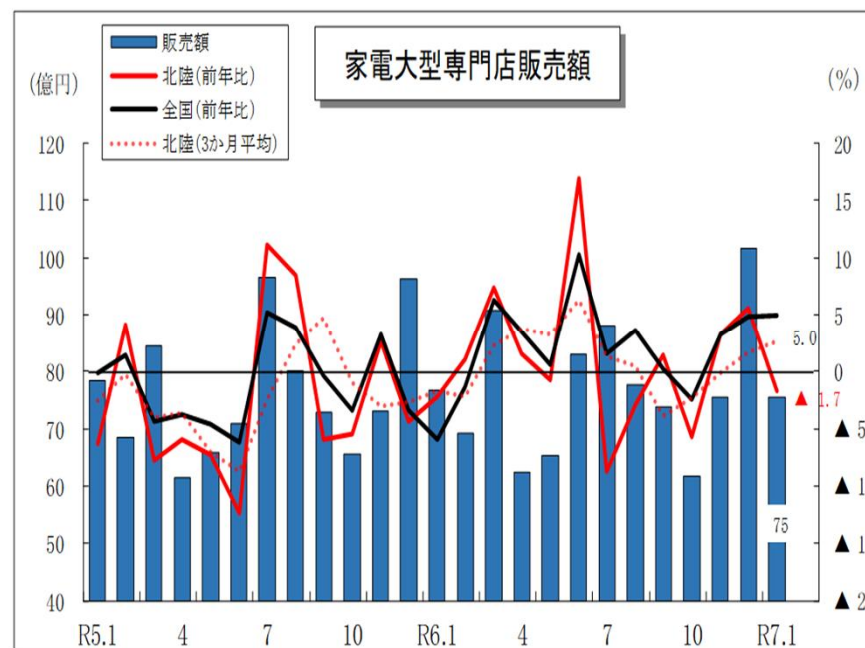
(資料) 経済産業省、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

- 被災家屋の修復用の工具等に落ち着きがみられるほか、昨年は地震直後に被災地支援用の日用品が良く売れた反動がみられる。
- 2月は大雪により除雪用品に動きがみられたが、客数減により、売上げが伸び悩んだ。
- 足下では、4月からの値上げを見据え、日用品などでまとめ買いの動きがみられる。

④**家電大型専門店販売**は、携帯電話等に動きがみられることから、持ち直しの動きがみられる。

※前回2月判断を据置き(令和6年6月以降、10か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、北陸財務局

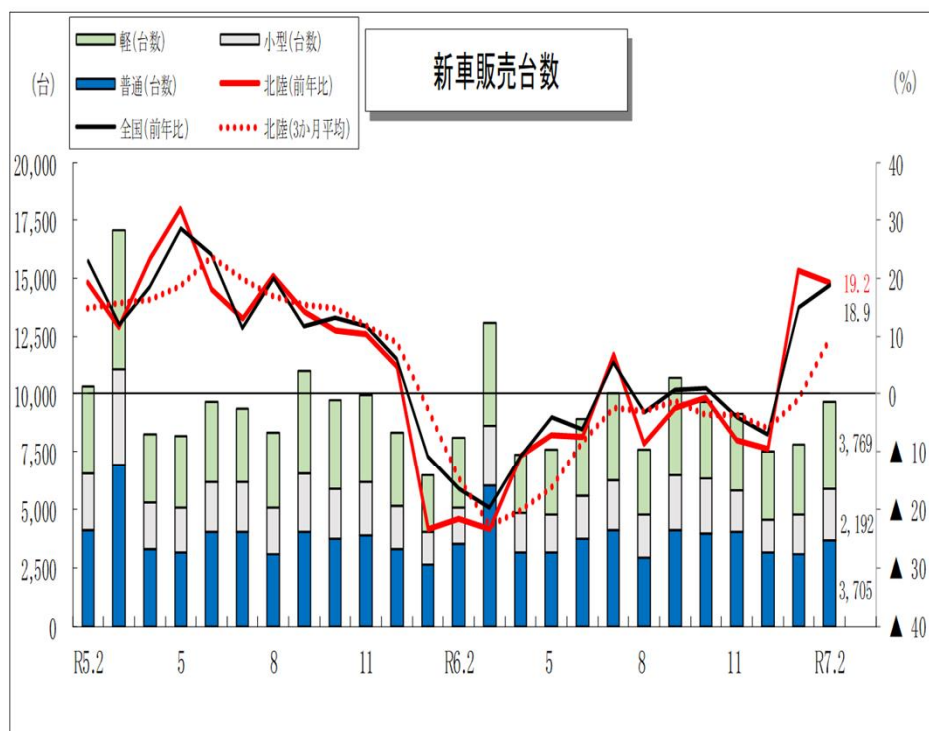
(主なヒアリング結果)

- スマートフォンに買い替え需要がみられる。
- 昨年あった省エネ家電応援キャンペーンや被災による買い替え需要がなく、冷蔵庫など白物家電の動きが鈍い。
- 2月は大雪の影響で客足が鈍ったが、寒波で高性能なエアコンが好調。足下でも夏の混雑前に購入する動きがみられる。

(3) 新車販売

2月の新車販売台数は、前年を上回っており、緩やかに持ち直しつつある。

※前回2月判断(「持ち直しに向けた動きに一服感がみられる」)を上方修正
(令和6年8月以来、7か月ぶりの上方修正)



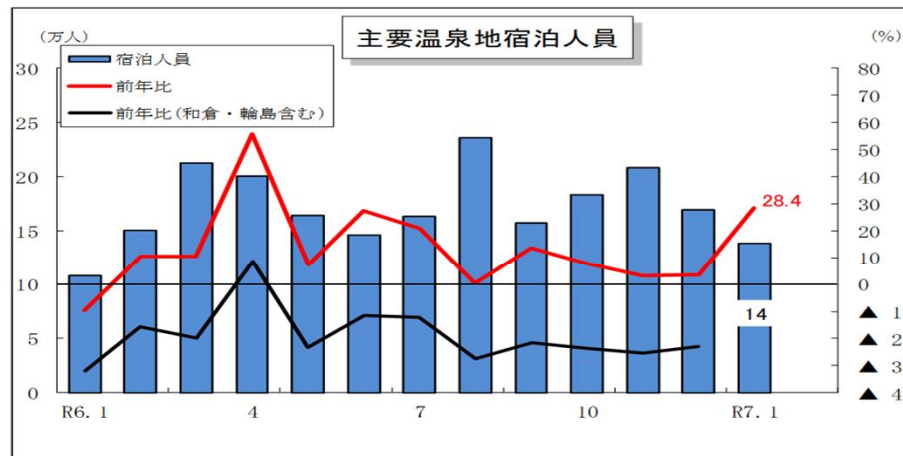
(資料) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

- 認証不正問題等が解消し、昨年を大幅に上回っている。
- 法規制対応も終え、受注の再開が進んでいる。
- 自動車メーカーが増産に慎重なため、受注はあっても、販売面では以前ほどのボリュームは見込めない。

(4) 観光・旅行関連

① 1月の主要温泉地(和倉・輪島除く)の宿泊客数は、前年を上回っている。



(注) 黒い折れ線は、和倉・輪島を含む前年比(R6年各月↔R5年各月)。(資料) 北陸観光協会

(主なヒアリング結果)

- 年末年始は日並びが良かったほか、地震の影響で客数が減少していた昨年の反動により大きくプラスとなった。(加賀)
- これまでの応援割や北陸DCなど目玉となる支援策がなく、物価高も続いているため、旅行マインドの低下を懸念している。(加賀)

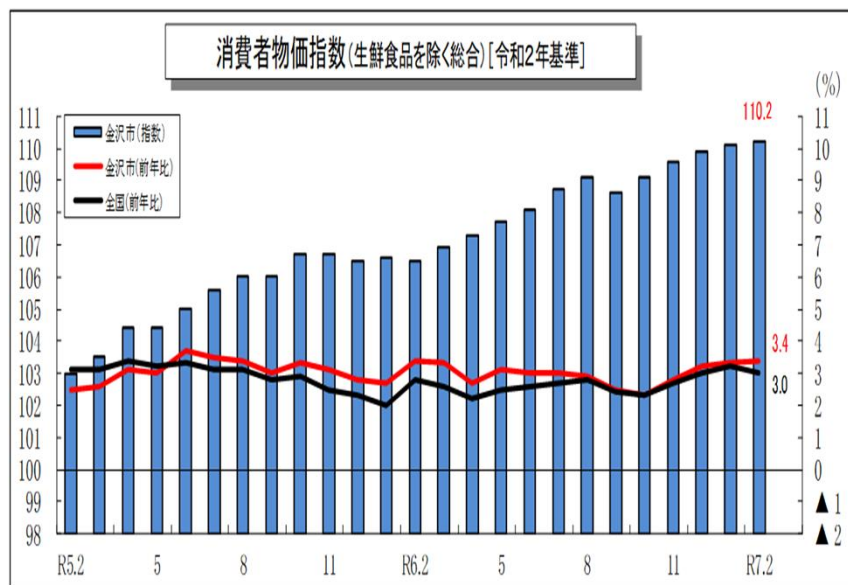
② 主要観光地の入込客数(2月)は、前年を上回っている。

(主なヒアリング結果)

- 2月は、昨年在地震で悪すぎたこともあって、今年は大きくプラスとなった。また、雪景色を好む外国人客の来場もあり、大雪でも客足は例年並みを確保した。(金沢)
- イベントが寒波と重なったこともあり、例年より客足が鈍かった。足下では、春休みで若者を中心に来客が増えている。(能登)
- 2月は寒波や大雪の影響により客足が鈍かったが、暖かくなるにつれ徐々に客足は戻ってきている。(福井)

(消費者物価)

2月の消費者物価(金沢市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回っている。

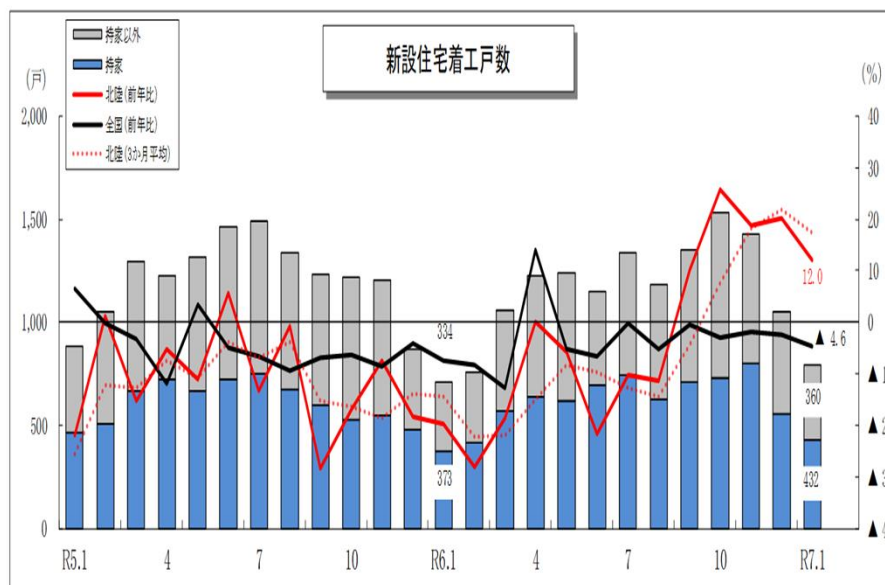


(資料)総務省

2. 住宅建設 … 緩やかに持ち直しつつある

1月の新設住宅着工戸数などを踏まえると、緩やかに持ち直しつつある。

※前回2月判断を据置き(令和7年2月以降、2か月連続の据置き)



(注)3か月平均は当局試算。

(資料)国土交通省、北陸財務局

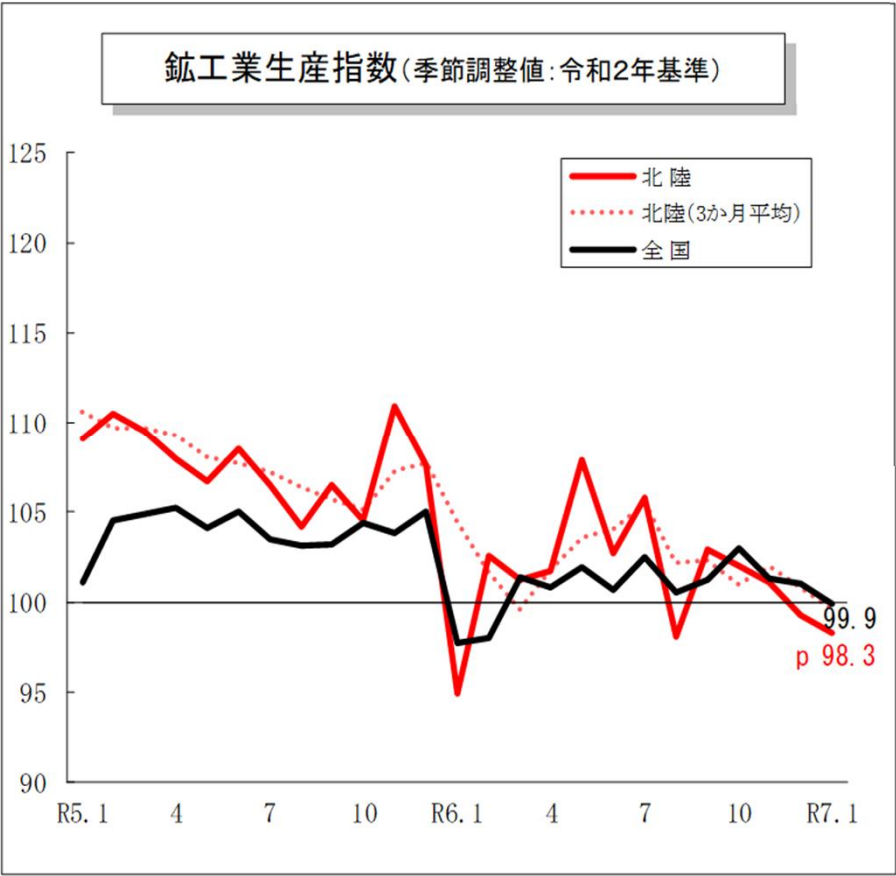
(主なヒアリング結果)

- 被災者による新築需要によって、夏ごろまで着工が続く見込み。
- 建築基準法改正により、今年4月から建築確認の範囲が拡大されるなど、完成までの期間が延びる見込みのため、3月までの着工が増えている。

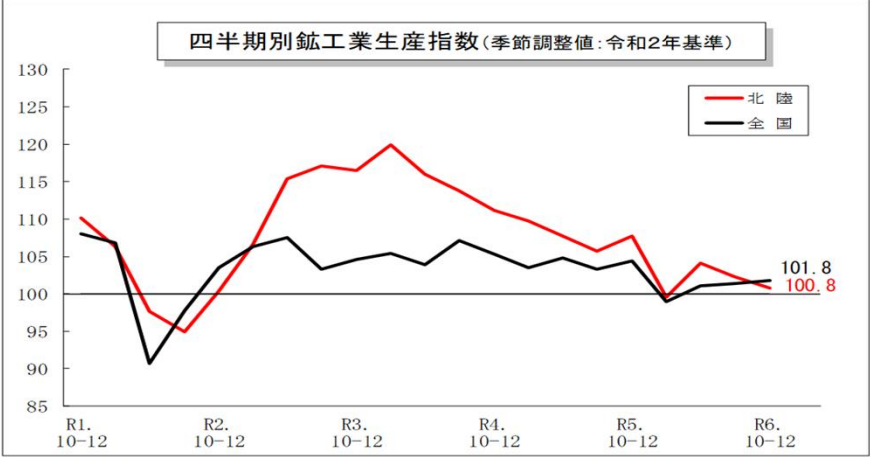
3. 生産 … 持ち直しに向けた動きに一服感がみられる

※ 前回2月判断を据置き(令和7年2月以降、2か月連続の据置き)

化学が緩やかに回復しているものの、電子部品・デバイスや生産用機械等が弱含んでいることなどから、全体では持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。



(注) 3か月平均は当局試算。
(資料) 経済産業省、中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局



業 種	判 断	前回との比較
化 学	緩やかに回復している	→
電子部品・デバイス	弱含んでいる	→
生 産 用 機 械	弱含んでいる	→
金 属 製 品	弱含んでいる	↘
織 維	緩やかに持ち直しつつある	→

業種別にみると、

(1) 化学は、大宗を占める医薬品で、緩やかに回復している。

※前回2月判断を据置き(令和6年11月以降、5か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

- 抗菌薬の供給が全国的に不足しているなか、感染症の流行により工場の稼働率を計画比120%程度まで引き上げている。
- 季節性抗アレルギー薬等を増産しており、足下では生産額が伸びている。
- 後発医薬品の利用促進策の影響で、一部の先発医薬品は需要が減少しており、当初計画からの減産を予定している。

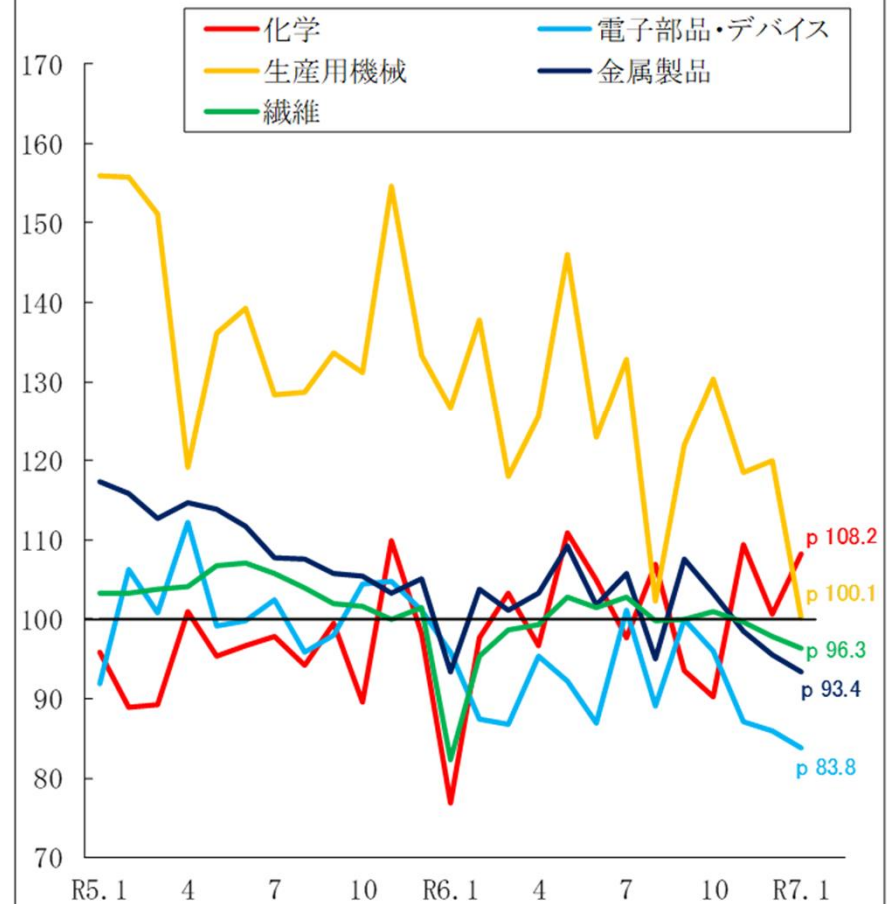
(2) 電子部品・デバイスは、スマートフォン向けや自動車向けで持ち直しに向けた動きに一服感がみられるほか、家電向けが弱まっていることなどから、全体では弱含んでいる。

※前回2月判断を据置き(令和7年2月以降、2か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

- スマホ向けは、中華圏メーカー向けは引き続き低調だが、北米メーカー向けは、新モデルの立ち上げに向けて在庫を積み増しており、堅調に推移する見通し。
- 自動車向けは、欧州を中心に自動車の販売不振が続いており、計画を下回った生産状況が続いている。
- 家電向けは、中国向けで依然厳しい状況が続いている。

主要業種の単月生産指数(季節調整値: 令和2年基準)



(資料) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

(3) **生産用機械**は、繊維機械が緩やかに持ち直しつつあるものの、半導体製造装置で持ち直しの動きに一服感がみられるほか、金属加工機械が弱含んでいることなどから、全体では弱含んでいる。

※前回2月判断を据置き(令和6年11月以降、5か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

- 繊維機械は、中国のアパレルメーカー向けの受注が堅調であり、生産ラインは高い水準で稼働している。
- 半導体製造装置は、スマホやPCの販売が伸び悩んでいることから、受注、生産とも計画を下回っている。
- 金属加工機械は、欧州や国内の設備投資は動きが鈍いが、北米向けの受注が伸びており、稼働率を上げていく。

(4) **金属製品**は、大宗を占めるアルミ建材で、ビル用に持ち直しの動きがみられるものの、住宅用が減少していることから、全体では弱含んでいる。

※前回2月判断(「下げ止まっている」)を下方修正
(令和6年2月以来、13か月ぶりの下方修正)

(主なヒアリング結果)

- 住宅用は、新築需要が低迷しているほか、従来のアルミサッシから複合サッシや樹脂サッシへのシフトが進んでおり、アルミ建材の生産量は減少している。
- ビル用は、首都圏の開発案件の受注が安定しているほか、地方都市でも一定の受注を確保している。

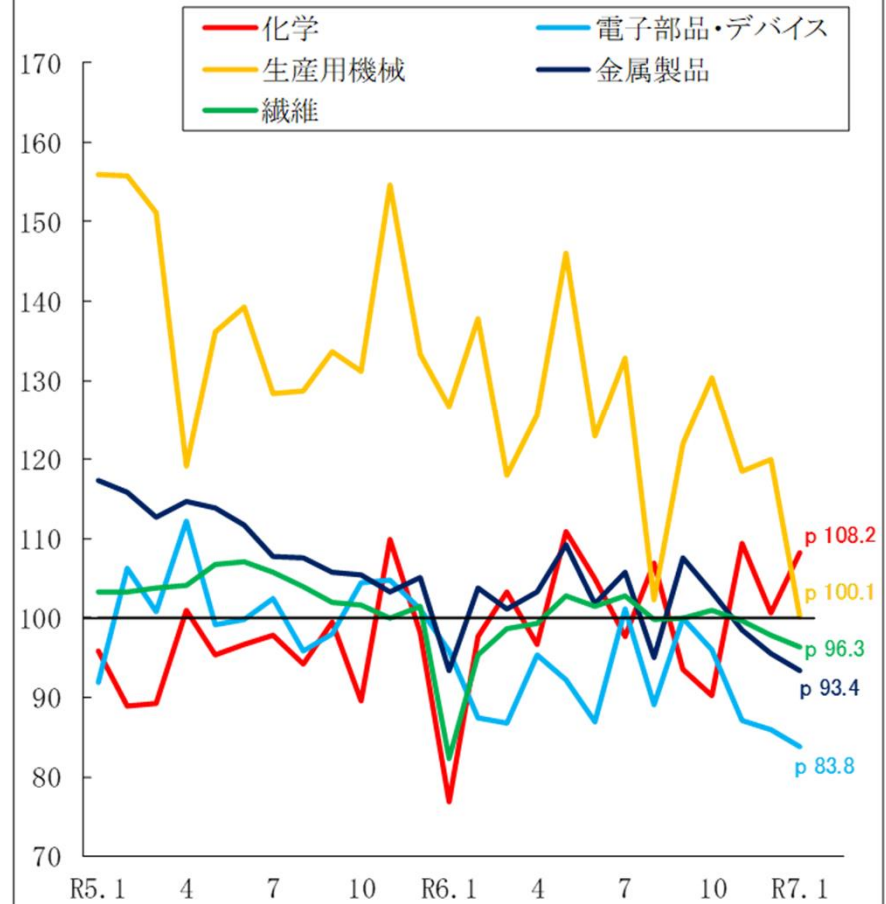
(5) **繊維**は、衣料向けが弱含んでいるものの、非衣料向けが持ち直しつつあることから、全体では緩やかに持ち直しつつある。

※前回2月判断を据置き(令和6年6月以降、10か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

- 衣料用は、健康志向の高まり等によりスポーツ・アウトドア向けは動きがみられるが、ファッション向けは在庫調整が続いている。
- インテリア資材は低調なものの、カーシート向けや土木資材には動きがみられる。

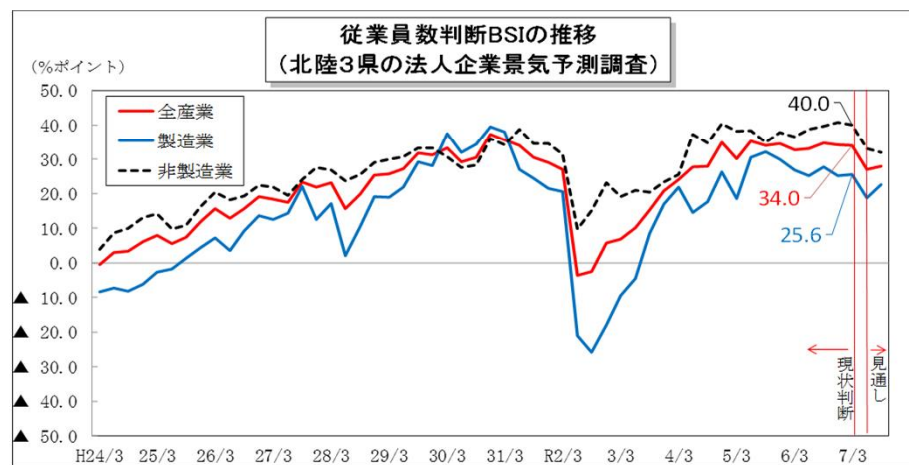
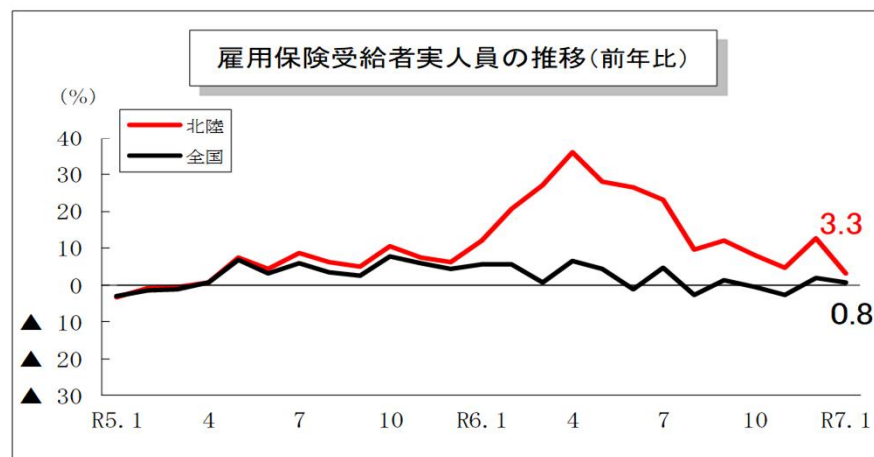
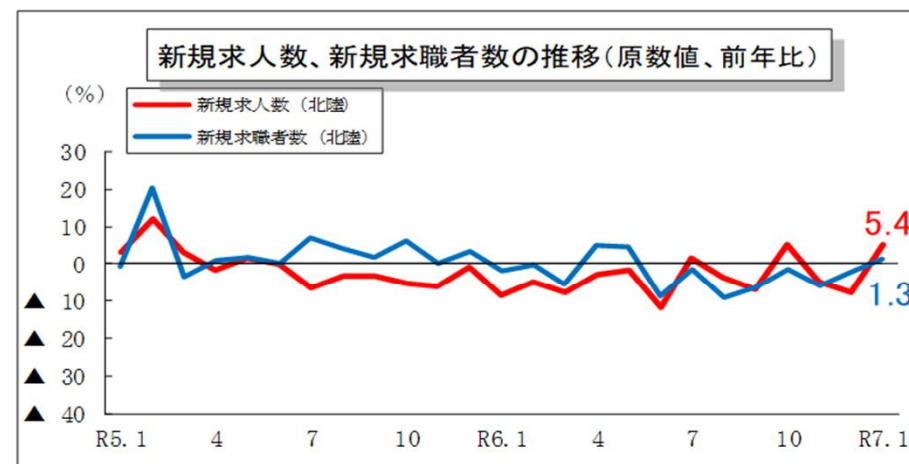
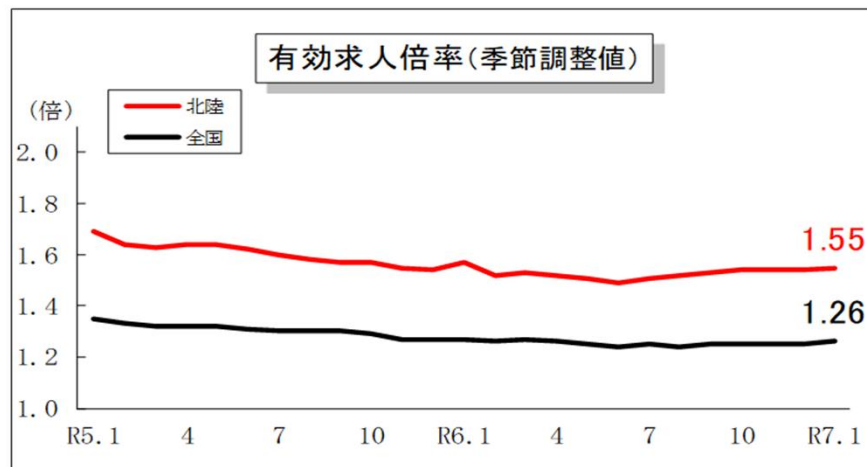
主要業種の単月生産指数(季節調整値:令和2年基準)



(資料) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

4. 雇用情勢 … 緩やかに持ち直している

1月の有効求人倍率は、上昇している。
新規求人数、新規求職者数ともに前年を上回っている。
雇用保険受給者実人員は、前年を上回っている。



(注1) 従業員数判断BSI = 「不足気味」回答社数構成比 - 「過剰気味」回答社数構成比。

(注2) 最新の現状判断は、令和7年3月末時点。

(資料) 厚生労働省、各県労働局、北陸財務局 10

■主要経済指標 (1)【次ページに注記等あり】

	項目			R6年11月	R6年12月	R7年1月	R7年2月	資 料 出 所	備考
個人消費	百貨店・スーパー販売額	全国	億円	18,976	23,480	19,159	...	経 済 産 業 省	-
			前年比	3.3	2.8	4.9	...		
		北陸	百万円	34,082	40,855	p 36,310	...	中部経済産業局	
			前年比	2.5	2.0	p 5.8	...		
	コンビニエンスストア販売額	全国	億円	10,534	11,372	10,496	...	経 済 産 業 省	-
			前年比	1.9	▲ 0.9	4.1	...		
		北陸	百万円	20,885	22,294	20,149	...	(北 陸 財 務 局)	
			前年比	2.5	2.5	0.7	...		
	ドラッグストア販売額	全国	億円	7,371	8,461	7,396	...	経 済 産 業 省	-
			前年比	6.2	9.3	6.3	...		
		北陸	百万円	30,545	33,260	30,498	...	(北 陸 財 務 局)	
			前年比	7.3	6.2	6.1	...		
	ホームセンター販売額	全国	億円	2,834	3,428	2,458	...	経 済 産 業 省	-
			前年比	2.8	3.2	0.6	...		
		北陸	百万円	5,318	6,456	4,042	...	(北 陸 財 務 局)	
			前年比	8.9	7.2	▲ 14.5	...		
	家電大型専門店販売額	全国	億円	3,831	4,905	4,138	...	経 済 産 業 省	-
			前年比	3.3	4.8	5.0	...		
		北陸	百万円	7,552	10,168	7,541	...	(北 陸 財 務 局)	
			前年比	3.3	5.5	▲ 1.7	...		
物 価	消費者物価指数 (生鮮食品を除く総合)	全国 (R2=100)	指数	109.2	109.6	109.8	109.7	総 務 省	-
			前年比	2.7	3.0	3.2	3.0		
		金沢市 (R2=100)	指数	109.6	109.9	110.1	110.2		
			前年比	2.8	3.2	3.3	3.4		
住 宅 着 工	新設住宅着工戸数	全国	戸	65,037	62,957	56,134	...	国 土 交 通 省	-
			前年比	▲ 1.8	▲ 2.5	▲ 4.6	...		
		北陸	戸	1,428	1,049	792	...	(北 陸 財 務 局)	
			前年比	18.7	20.2	12.0	...		
生 産	鉱工業生産指数 (季節調整値)	全国 (R2=100)	(10,000)	101.3	101.0	99.9	...	経 済 産 業 省	-
			前月比	▲ 1.7	▲ 0.3	▲ 1.1	...		
		北陸 (R2=100)	(10,000)	101.1	99.3	p 98.3	...	中 部 経 済 産 業 局	・鉱工業生産指数・北陸の業種別の(カッコ内)は、基準年の構成比。
			前月比	▲ 0.9	▲ 1.8	p ▲ 1.0	...		
		化学	(1,540.5)	109.4	100.6	p 108.2	...		
			前月比	21.3	▲ 8.0	p 7.6	...		
		電子部品 ・デバイス	(1,401.6)	87.1	85.9	p 83.8	...		
			前月比	▲ 9.3	▲ 1.4	p ▲ 2.4	...		
		生産用機械	(1,233.3)	118.4	119.9	p 100.1	...		
			前月比	▲ 9.1	1.3	p ▲ 16.5	...		
		金属製品	(905.8)	98.5	95.5	p 93.4	...		
			前月比	▲ 4.6	▲ 3.0	p ▲ 2.2	...		
		繊維	(579.9)	99.7	97.9	p 96.3	...		
			前月比	▲ 1.3	▲ 1.8	p ▲ 1.6	...		

■主要経済指標（2）

	項目			R6年11月	R6年12月	R7年1月	R7年2月	資 料 出 所	備考
雇 用	有 効 求 人 倍 率 （ 季 節 調 整 値 ）	全国	倍	1.25	1.25	1.26	・・・	厚 生 労 働 省	・有効求人倍率の北陸は、当局において各県の有効求人数、有効求職者数を合算して試算している。
		北陸	倍	1.54	1.54	1.55	・・・	（ 北 陸 財 務 局 ）	
	新規求人数（原数値）	北陸	前年比	▲ 4.9	▲ 7.6	5.4	・・・	（ 北 陸 財 務 局 ）	-
	新規求職者数（原数値）	北陸	前年比	▲ 5.9	▲ 2.2	1.3	・・・	（ 北 陸 財 務 局 ）	
	雇用保険受給者実人員	全国	前年比	▲ 2.7	2.0	0.8	・・・	厚 生 労 働 省	-
		北陸	前年比	4.6	12.6	3.3	・・・	（ 北 陸 財 務 局 ）	
公 共 事 業	公 共 工 事 請 負 金 額	全国	億円	7,999	6,785	5,662	6,914	東日本建設業保証ほか	・公共工事請負金額は、東日本建設業保証、西日本建設業保証、北海道建設業信用保証の3社による公共工事前払金保証実績に基づくものである。
			前年比	4.6	▲ 5.7	▲ 1.3	▲ 22.5		
		北陸	億円	279	317	287	327	（ 北 陸 財 務 局 ）	
			前年比	24.4	95.4	62.9	85.0		
金 融	預 （ 末 残 金 ）	全国	億円	11,516,957	11,509,106	11,525,313	・・・	日 本 銀 行 信 金 中 央 金 庫	・預金の金額は表面預金。 ・単位未満は、金額については切捨てで表示している。 ・国内銀行及び信用金庫の合計で、整理回収機構、ゆうちょ銀行を含まない。 ・北陸は、北陸3県内に店舗を置く国内銀行の合計（3県内店舗分）及び北陸3県内に本店を置く信用金庫の合計。 ・国内銀行は、銀行勘定を集計したもの。ただし、オフショア勘定を含まない。また、中央政府向け貸出を除く。
			前年比	1.4	2.0	1.8	・・・		
		北陸	億円	217,255	218,063	215,825	・・・	（ 北 陸 財 務 局 ）	
			前年比	3.4	3.0	2.4	・・・		
	貸 （ 末 出 残 金 ）	全国	億円	6,867,893	6,938,975	6,951,300	・・・	日 本 銀 行 信 金 中 央 金 庫	
			前年比	3.5	3.8	3.9	・・・		
		北陸	億円	107,071	107,522	107,498	・・・	（ 北 陸 財 務 局 ）	
			前年比	0.8	0.8	1.1	・・・		
企 業 倒 産	企 業 倒 産 件 数	北陸	件	34	19	16	14	（株）東京商工リサーチ	・前年比については切捨てで表示している。
			前年比	112.5	18.7	60.0	▲ 30.0		
	負 債 総 額	北陸	百万円	4,525	10,055	1,550	1,421		
			前年比	203.9	253.1	25.1	41.2		

【注記】

1. pは速報値である。季節調整等により、数値が改定される場合があるので、利用にあたっては可能な限り最新号によって下さい。
また、資料出所先において、最新の指標や改定値等の公表が行われている場合があるので、利用にあたってはご留意下さい。
2. 「北陸」は、断りがない限り、石川、富山、福井の3県である。
3. 各県分の資料のみ発表されているものを北陸3県分として集計等している場合は、資料出所欄に「（北陸財務局）」として表示している。
4. 金額等の計数及び前年比は、断りがない限り、四捨五入で表示している。